

市第76号議案（関係部分）

今後、政府のカジノ管理委員会規則やI R基本方針を踏まえて、競争力強化に向けた分析など専門的な調査分析を行いながら実施方針案を作成するというI R実現に向けた補正予算案が提出されている。

本事業に当たっては、懸念事項である治安対策とギャンブル等依存症など、市民の不安事項や市内観光・地域経済の振興、増収の用途などについて慎重に検討を進め、適宜、市会に情報提供し議論を行うとともに、市民、関係団体の理解が深まるよう、丁寧な説明に努めるよう、特段の対応を図られたい。

- 1 治安対策については、神奈川県警察本部や神奈川県と十分に連携し、万全の対策を検討すること。
- 2 ギャンブル等依存症対策については、政府が本年4月に定めた基本計画に基づき、神奈川県と連携して進めること。
- 3 アルコール・薬物と合わせて既に取り組んでいる依存症対策総合支援事業について、I R検討に先行して、市立大学医学部との連携を含め全庁あげて充実に取り組むこと。
- 4 市内観光の振興については、これまでの常識にとらわれない斬新な発想をスピード感をもって実現できる人材の登用やDMOなどの組織体の設置を検討すること。
- 5 地域経済の振興について、I Rの経済波及効果が都心臨海部、市郊外部など市内全域に行き渡る方策を、実施方針に盛り込んでいくこと。
- 6 I Rに伴うカジノ納付金など増収財源の用途については、医療、福祉、教育、学校の建てかえなど、市民生活の安全安心の確保に向けて安定的に活用する仕組みを検討すること。
- 7 政府が進める日本型I Rの仕組みや懸念事項対策の内容、横浜市が目指す懸念事項対策や経済振興などについて、374万市民の多くに正確な情報が提供されるよう、18区で行う説明会はもとより、さまざまな媒体や方法を使って市民の理解が進む取り組みを行うこと。
- 8 I Rの誘致に伴う市会での議決は、国に申請する区域整備計画案の審議時となるが、その間に行われる実施方針の作成、事業者公募選定などの事業内容については、業務進捗にあわせ、適宜、市会と議論を行いながら決定していくこと。